

1. 第 1 回 大阪府大阪市医療・病床懇話会 令和元年 8 月 19 日開催

(1) 2019 年度「地域医療構想」の進め方について

(意見)

- ・急性期医療を受けた後に、どのように回復期・慢性期・介護医療院に移っていくのか、安心して住まいと医療が提供できるような方向性で進めていただきたい。

(2) 大阪市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況について

- ・現状と今後の方向性について
- ・過剰病床への転換にかかる継続案件について

(意見)

- ・医療法人医誠会の基本構想案で、回復期機能と慢性期機能を手放して高度急性期機能、急性期機能に転換することに関しては納得できない。
- ・これからの高齢者救急は、地域密着型が良いとされる中で、この内容は矛盾が多いのではないか。
- ・小児・周産期医療については、集約化するというのが共通認識であり、また、経験が無い病院が診療していくことは難しいのではないか。
- ・メディカルツーリズムについては、本来の医療提供の考え方からも問題がある。
- ・本懇話会の意見としては、今回の基本構想案の内容では、理解が難しいということで、意見を統一することとする。

(3) 外来医療計画策定について

(意見)

- ・都会では、夜間人口が少なく、昼間人口が多いという実情があり、その点を勘案し指数として入れてもらいたい。
- ・医療機器の稼働率は何が 100%なのかわからないので、何件やっているのかという実数になると思う。また、自院以外の紹介検査件数もポイントになると思う。

(4) 地域医療介護総合確保基金事業について

(5) 市立住吉市民病院跡地における新病院設置に伴う病院再編計画について

(意見)

- ・二次医療圏を超えた病床の移動については、どのような適用があるのか。
⇒医療法施行規則 30 条の 32 第 2 号により運用する。

2. 大阪市在宅医療懇話会 令和元年9月26日開催

(1) 在宅医療の推進について

(意見)

- ・在宅医療の具体的な指標に「救急不搬送」の追加を検討していただきたい。
- ・アウトカム指標の住民の幸せ満足度については、日常の療養支援、急変時、看取りの場面ごとに分けて考えるべきである。
- ・退院支援にかかる多職種研修会について、より多くの職種に周知していただきたい。
- ・マップ作成や研修会開催について、区役所にもっと主体的に取り組んでいただきたい。
- ・小児の医療的ケアが必要な方の地域での在宅医療の状況について、情報把握いただきたい。

(2) 在宅医療にかかるグループ診療等について

- ・「外来医療を実施する医療機関が柔軟に在宅医療に参加できるような対策」、「在宅医療の提供にあたって各医療機関等がどのような役割分担を担うのか」について意見聴取するため大阪市の現状について説明。

(意見)

- ・グループ診療については、市としてどのように進めていこうとしているのか。
- ・主治医として診ていない患者を診ることができるのか。
- ・個人の先生が集まって一緒に看っていくのは難しいため、情報を常に共有していく必要がある。
- ・この課題を検討するにあたり、当懇話会には訪問看護師が入っていないので、検討が必要である。
- ・これからの医療は高齢者医療となるので、高齢者の病院への受入れが今後の課題である。
- ・地域医療支援病院という仕組みは地域において重要である。

(3) 地域医療介護総合確保基金について

(意見)

- ・歯科医師会の口腔ケアは非常に重要であるため、医師会員へ周知して集まるというのも検討したい。

(4) その他

- ・大阪府の死因調査体制の整備に向けた取組みについて

(意見)

- ・在宅で看ている方は社会的弱者のため、当然地域で看っていく必要がある。

3. 大阪市精神医療懇話会 令和元年 11 月 18 日開催

(1) 地域連携拠点医療機関について

(意見)

- 精神科を標榜していない医療機関にもアンケート調査を行っているのか。調査していないのであれば、公的にリストを掲載しているため、精神科を標榜している医療機関のみ等の但し書きが必要ではないか。
- てんかんの都道府県連携拠点の要件は重症例に対応が可能となっているが、救命救急センターを有する医療機関では、対応が可能だと思う。
- 現場で使い易いリストに早く変えていただくよう進めていただきたい。

(2) 夜間及び休日における精神科救急医療の状況について

(意見)

- 一次救急の利用実績で、大阪市域の利用のうちリピーターはどの程度いるのか。

(3) 依存症対策の状況について

(意見)

- 大阪市内は依存症系の取組みが少し弱いと思う。ギャンブルだけではなく、ゲームやスマホを含めた行動刺激、プロセス依存等に対する取組実績を示した方が良いのではないかと思う。

(4) 認知症施策の現況について

(5) 妊産婦のメンタルヘルスについて

(意見)

- 本来受診すべきで受診していない人はどの程度いるのか。そういう人こそ問題が多いと思う。
- 医学的サポートより、社会的支援が大切ではないか。

(6) その他

• 今後の母子保健事業のあり方

(オブザーバー：大阪母子医療センター 光田医師からの説明)

4. 第2回 大阪市医療・病床懇話会 令和2年1月16日開催

- (1) 2019年度「地域医療構想」の進め方と進捗状況について
(2) 大阪市二次医療圏における地域医療構想の進捗状況について

(意見)

- ・大阪市のよう交通網が発達しているところでも、病床機能の考え方は市域で考えるのか。
- ・病床機能4区分の明確な分け方について、大阪府で定義を示していくべきではないか。

- (3) 大阪市二次医療圏における各病院等の今後の方向性について

○過剰病床への転換にかかる継続案件について

- ・医療法人医誠会の2病院統合にかかる、基本構想案の修正について同法人から説明。

(意見)

- ・修正案では回復期を設けているが、回復期で急性期の重症なものを扱う「急性期一般入院料1」の入院基本料を取るのとは矛盾していると思う。
- ・NICUや小児科救急なども拡充するのか。
- ・職員や研修医の育成、看護師の確保など、体制は整うのか。
- ・周産期・がんの医療機能として、移転先で拠点となっていくのは難しいのではないか。
- ・医療法人医誠会については、保健医療連絡協議会では本日の状況報告とする。

○第2回病院連絡会結果の概要について

○非稼働病床の今後の運用プランについて

(意見)

- ・過剰病床へ転換予定の病院については、問題点を整理し説明を求める病院を絞ってはどうか。
- ・当懇話会の意見として、回復期から過剰病床への転換するもの等、一定の基準を設けて保健医療連絡協議会で説明を求めることとする。
- ・説明を求める病院は9病院が該当。本来であれば院長に説明をいただくものであるが、代理者による説明、また文書による説明も可とする。

- (4) 大阪市二次医療圏における第7次医療計画の取組状況の評価について

(意見)

- ・脳卒中の対応や、認知症対策基本法策定など、計画中間年の見直しに関連するものがあるが考えはあるのか。
⇒国のガイドラインに基づき、計画中間年の見直しで考慮する。

- (5) 大阪府医師確保計画策定にかかる検討状況について

(6) 大阪府外来医療計画の素案について

(意見)

- ・意向書の提出に際しては、地域医療の現状を把握している地区医師会との調整・協議などができるようなものを検討いただきたい。

(7) その他

- ・市立住吉市民病院跡地における新病院等の整備について、昨年 4 月に策定した基本構想に基づき、病院再編計画の提案に向け準備を進めてきたが、運営主体との協議になお時間を要するため、提案は次年度以降になる旨、事務局から報告があった。

5. 大阪市救急医療懇話会 平成 31 年 3 月 29 日開催

(1) 大阪市域における救急医療の現状について

(意見)

- ・出場件数の「拒否」が半数以上の件数を占めている理由は。
- ・理由別転送回数の重症等理由で、他の高次病院に転送したという考え方や、救急隊員の選定が軽かったという両方の考え方があるが、消防局としては、どう捉えているのか

(2) 大阪市域における傷病者の搬送及び受入の実施基準の運用状況について

(意見)

- ・受入が決まりにくい外国語対応についての項目はないのか。
- ・不応需理由で、赤 1 の処置困難は高いが、現状は黄以下でも処置困難が多い。処置困難と専門外との区分けはどうなっているのか。
- ・精神疾患は、患者背景で多いと思うが、どの程度のリピーターがあるのか。

(3) 実施基準にかかる検証会議について

- ・今年度より実施予定としている実施基準検証会議についての説明。

(意見)

- ・搬送困難症例を減らす手段は、医療機関に受け入れてくれるようフィードバックするしかない。
- ・健常者に対しての医療ではなく、特養入所者や障がい者の医療等との連携などが大事ではないか。
- ・本来二次で受け入れるものを、三次で受け入れるのは本来の姿ではない。その辺の検証もしていただきたい。
- ・緊急度が赤 1 で搬送先が見つからない症例を検証対象症例とすべきかと思う。

令和元年度 保健医療協議会開催状況

1. 大阪市各保健医療協議会（東西南北 共通）

西部保健医療協議会	令和元年 12月 27日開催
北部保健医療協議会	令和2年 1月 9日開催
東部保健医療協議会	令和2年 1月 10日開催
南部保健医療協議会	令和2年 1月 15日開催

- 議題（1）2019年度「地域医療構想」の進め方と進捗状況について
議題（2）大阪市二次医療圏における地域医療構想の進捗状況について
議題（3）第2回病院連絡会結果の概要について

（意見）

- ・高速道路が発達している大阪で、自己完結率が低いのがよくないというのはおかしい。流出超過、流入超過の考え方を教えてほしい。
- ・地域医療構想の取り組みで、高度急性期・急性期等の定義はどう考えているのか。
- ・公立病院の再検証要請対象病院の厚労省の公表のやり方は納得いかない。

- 議題（4）大阪市二次医療圏における第7次大阪府医療計画の取組状況の評価について

- 議題（5）大阪府外来医療計画（素案）について

（意見）

- ・新規開業者に対する意向書の実効性、また拘束力はあるのか。
- ・外来医療計画を策定するにあたり、スキーム等実務ベースで詳細に詰めていただきたい。
- ・医療機器の共同利用についての定義は決まっているのか。
- ・歯科医師の新規開業にも意向書の提出をもとめるのか。

- 議題（6）地域医療支援病院の承認について（西部）

⇒地域医療支援病院の申請内容について、社会医療法人愛仁会 千船病院病院長より説明があり、本協議会にて承認された。

- 議題（6）その他（北部・南部）

- ・市立住吉市民病院跡地における新病院等の整備について、昨年4月に策定した基本構想に基づき、病院再編計画の提案に向け準備を進めてきたが、運営主体との協議になお時間を要するため、提案は次年度以降になる旨、事務局から報告があった。